

# 3年学年だより

令和6年6月

No.8

吹田市立千里丘中学校

第3学年



## 「非日常」と「日常」

暑くなってきました。「修学旅行も暑かったな・・・」と、まだまだ修学旅行の余韻に浸っていたい日々ですね。3年生のみんなが大阪に帰ってきた数日後、沖縄・奄美地方の梅雨入りが発表されました。みんなが沖縄にいた3日間は天候に恵まれました。まだ暑さになれていない身体には、少しこたえる暑さでしたが、亜熱帯ならではの気候や自然を体感することができましたね。海も非常に美しく澄み、現地の方は「修学旅行生が来るこの時期に、ここまで水が澄んでいることは珍しい」とおっしゃっていました。「非日常」を十分に満喫し、心地よく疲れて帰阪することができました。

「日常」に戻ったみんなの学校生活。その中でも、「ああ、修学旅行の出発前にもどりたい」「もう一回沖縄行きたい」という声が多数聞かれます。気持ちはとってもわかります。けれど・・・

## 「勉強」はやめて、「study」しよう

先日、大阪青凌高等学校の先生に進路講話をしていただきました。1学期も後半戦に突入し、いよいよ「受験生」を意識する時期です。「はあ、勉強ばっかりの毎日・・・いややな」と、ため息が聞こえてきそうです。先日配付された中間テストの「成績カード」の数字にも、一喜一憂する姿がみられました。

今年のみみんなにとって定期テストの点数は、成績(評価)に・・・そして中学卒業後の進路選択に直結する、とても重要な数字です。自分が行きたい高校に合格するには、少しでも「いい成績」がほしい。だから、直前に一夜漬けしてでも、1点でも「いい数字」がほしい。

もちろん、しんどいときのもうひと踏ん張り、選べる進路が変わるかもしれません。ですから、1点にこだわって、根をつめて夜ふかし・・・眉間にしわを寄せて勉強するのも、わかります。先生たちも、元中学生で元受験生。それぞれに、受験勉強の思い出があり、苦しいときに踏ん張った経験をもっています。

ただ、大人になって気づいたことがあります。「いい高校」に行くためだけに、ただ何となくやらなくちゃいけないからやっている勉強は、本物の学習ではない、ということです。どれだけ自分にムチを打って勉強し、どれだけ「将来必要であろう知識」を詰め込んでも、**心から楽しんでやっている人には絶対に勝てない**。そういうことです。

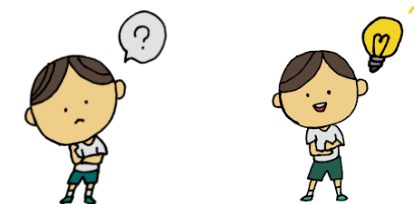
そもそも「勉強」は、「勉めて強いる」と書きますね。中国語では「無理を強いる」というような意味にもなります。そう考えると、なんだか「やらされている」感じがしますよね。

一方、英語では「勉強する」を「study」と訳しますね。この「study」の語源は、ラテン語の「studium」という言葉が由来らしく、これは「情熱、熱心」というような意味だそうです。つまり、「study」は自分から情熱を燃やして学ぶという意味なのです。

例えば、「理科だるいなあ・・・」と思う人がいるかもしれません。でも、「なんであったかいものの上に乗せたかつおぶしは勝ってに動くん?」とか「飛行機って、あんなに重たいのに何で浮いてるん?不思議やなあ・・・」というノリだったらどうでしょう。ちょっと楽しそうじゃないですか?理科は、世の中で起きているあらゆる現象の理由を説明してくれる、おもしろい教科です。

同じく社会科は、社会のしくみやできごとの理由を説明してくれる、興味深い教科です。なぜ、スーパーで買うよりコンビニで買う方が、ペットボトル飲料の値段が高いのか。なぜ、大阪で「粉もん文化」が根づいたのか。調べてみると、「へえ〜」「なるほどね〜」と思って、「じゃあ、こっちはなんで・・・?」と次々興味がわいてきます。

英語は苦手と思う人は、Youtubeでカッコイイと思う洋楽アーティストを見つけてみましょう。K-POPが好きな人がジャンルをすぐ覚えてしまうように、洋楽にはまって、英語の成績が伸びた人もいましたよ。



「先生、そうは言うけど、そんなんこじつけや。そんなんまいこといかんわ。」という声が聞こえてきそうです。確かに、勉強や授業がすべておもしろい、と思うようになることは、難しいかもしれません。しかし、**学ぶのが上手な人は、「なんかおもしろいことないかな?」と勝手に楽しもうとしているところがある**と思います。勉強面だけではなく、スポーツや将棋囲碁、会社の経営や新しいものの発見・研究など、さまざまな分野で活躍している人の多くは、学ぶのが上手な人です。人から与えられたり、教えられたことを吸収する力が強いだけでなく、楽しんで自分から学んでいる人たちです。自分から情報を取りにいたり、自分で選択して学びに行くことで成功した人たちなのです。

同じ「現実」を見ても、**はじめからおもしろくないと決めつけてしまうか、そこに楽しみを見出そうとするか、その違いが、意欲の違いに現れる**のかもしれないね。

**一方的に教えてもらったものは、身につかない。**

**逆に、自分でつかみにいったものは、どんなときも忘れない。** ということでしょうか。

ヒトの遺伝子は、99.9%までが隣の人とほぼ一緒だといわれています。「勉強ができる」「できない」の差は、「もともと頭がいい」「悪い」の差ではなく、「勉強がおもしろく(好きに)なったか」「嫌いなままなのか」の差なのかもしれませんね。

3年生のみんなには、ただただ勉強に「追われる」**受験生活**ではなく、自分から夢を・学ぶおもしろさを・理想の人生を・希望する進路を「**追いかける**」**受験生活**を送ってほしいと思っています。

